

「女性の活躍期待」と板東消費者庁長官 日本ヒーブ協議会、公開講座開く

一般社団法人日本ヒーブ協議会は、去る四月十七日、東京都・都市センターホテルで公開講演会・情報交換会を行った。

「消費者市民社会の実現に向けて」をテーマに消費者庁板東久美子長官が講演を行った。板東長官は、高齢者の消費者被害や電子商取引の相談が増加していることや最近の食品の異物混入に関する相談状況、子どもの事故に関する相談状況など消費者問題の現況を説明した。

また、消費者庁が推進してきた事故情報の収集、活用、製品表示法、課徴金制度の導入、食品表示法などの政策を説明した。「学校消費者教育についても」



女性の活躍にエールを送る板東長官

だけで行われるのが消費者教育ではなく、事業者や事業者団体も含めた多様な担い手による地域の消費者教育によって、消費者・企業・行政の協働で消費者市民社会は実現する」と訴えた。

また、日本ヒーブ協議会が三十五周年記念に作成した「お客様の声を活かした取組56例」は消費者志向経営、消費者と企業との協働の可能性を示すものと評価した。

さらに「私も働きながら多くの人の協力を得て育児と両立した経験がある。消費者志向経営の最前線として女性の活躍を期待したい」とエールを送った。